

## 生計同一関係申立書

### ① 生計同一関係にあったことの申立

申立年月日：令和\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 ※ この申立書の記入日を記載してください。

私と下記②の者は、下記②の者が亡くなった当時、生計を同じくしていました。

① 請求される方の住所、氏名

住 所

氏 名

② 亡くなった方（被保険者、被保険者であった方）の住所（亡くなった当時）、氏名

住 所

氏 名

（①との続柄： ）

上記①・②の方の状況に応じて、次の1～3のいずれか一つに○を付した上で、必要事項を記載してください。

1. ①と②は、住民票上は別世帯でしたが、住民票上の住所は同一でした。

【住民票上、別世帯となっていた理由を以下に記載してください。】

2. ①と②は、住民票上は別住所でしたが、実際は同居していました。

【住民票上、別世帯（別住所）となっていた理由を以下に記載してください。】

※ ①と②が同一住所であったことが確認できる郵便物や公共料金の領収書等を添付してください。

3. ①と②は、別居していました。また、住民票上も別住所でした。

(1) 別居していた理由を以下に記載してください。

(2) 経済的援助の状況について、以下の㉞～㉟に記載してください。

- ㉞ ㉟ (亡くなった方) から㉠ (請求される方) に対する経済的援助の有無 (あり・なし)
- ㉠ 上記㉞で「あり」の場合にはその回数 (年・月 約\_\_\_\_\_回程度)
- ㉡ 上記㉞で「あり」の場合にはその金額 (年・月 約\_\_\_\_\_円程度)
- ㉢ 経済的援助の方法・内容

※ 送金による経済的援助を受けていた場合、そのことを証明する預金通帳等のコピーを添付してください。

(3) 音信・訪問の状況について、以下の㉞～㉟に記載してください。

- ㉞ 音信の回数 (年・月・週 : 約\_\_\_\_\_回程度 ・ なし)
- ㉠ 訪問回数 (年・月・週 : 約\_\_\_\_\_回程度 ・ なし)
- ㉡ 音信・訪問の内容

4. 第三者による証明欄 ※ 上記1に○をされた場合または生計同一関係証明書類を添付している場合は記入不要です。

上記の内容は、事実と相違ないことを証明します。  
また、私は上記㉠と㉡の者の民法上の三親等内の親族ではありません。

証明年月日：令和\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 ※ ㉠の申立日(記入日)以後に証明してください。

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

請求者との関係  
または職名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

※ 法人(会社、病院、施設等)・個人商店として証明する場合は、所在地・名称及び証明者の役職名と氏名を記入してください。

全国市町村職員共済組合連合会理事長 様

※ 次のいずれかに該当する場合は、該当する書類(生計同一関係証明書類)を添付してください。

- ・健康保険の被扶養者として認定されていた場合 年金受給権者または配偶者(子)の健康保険証等のコピー(健康保険証等に記載された保険者番号および記号・番号等を判別・復元できないようマスキング(黒塗り等)してください。)
- ・給与の扶養手当の対象となっていた場合 年金受給権者の貸金台帳等のコピー
- ・所得税法上の控除対象となっていた場合 年金受給権者の源泉徴収票等のコピー

※ 第三者とは、民生委員、病院長、施設長、事業主、隣人等をいい、民法上の三親等内の親族は含まれません。

※ 必要に応じて、その他の書類の提出をお願いすることがあります。